

まだ少しこだはり残る青林檎

百合子

心象句では種明かしをしない方が読みは広がる。青林檎というあまり深刻にならない季語を選択したことで、読者にとって作者の少しのこだわりが何であるかを色々と想像する楽しさを与えてくれた。